



令和7年度

給食だより

高岡市立こまどり支援学校

富山県立高志支援学校高等部こまどり分教室

暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きます。寒さや風邪に負けないように、毎日しっかり食べてこの冬を乗り切りましょう。

今月の献立

節分献立 2日(月)

2月3日は節分献立で、主菜はいわしの梅煮です。節分の日には、豆をまいて鬼を追い払い、家族の健康や幸福を願います。また、柗の枝にいわしの頭を刺して玄関に飾る風習もあります。これは柗のトゲで鬼を刺し、いわしにおいて鬼を近付けないようにする魔除けの意味があります。



いく
高岡食19并献立 19日(木)

今月の高岡食19并は、「高岡冬野菜のマーボー并」です。冬野菜は寒い雪の中で育つため、うまみや栄養がぎゅっとつまっています。また、このマーボー并には、生姜やにんにくが入っています。生姜には体を温めるはたらきがあり、にんにくには、ウイルスや細菌から体を守るはたらきがあります。栄養たっぷりの并を食べて、風邪を予防しましょう。

日本遺産の日 13日(金)

2月13日は「日本遺産の日」にちなんだ献立です。高岡市は、1609年に加賀前田家二代当主前田利長によって高岡城が築かれた後、町民のまちとして発展してきました。華やかな祭礼や鋳物・漆器等のものづくりの技等、町民文化が受け継がれ、現在も息づいています。この高岡の歴史ストーリーが「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心一」として日本遺産に認定されています。

日本遺産の日

2月13日

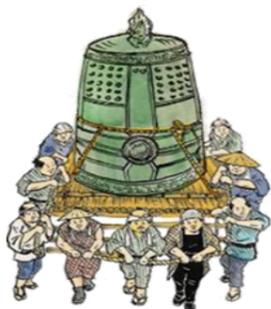
TAKAOKA

ライバルはご先祖様。文化創造都市高岡

日本遺産認定ストーリー

「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心一」

給食から高岡市が誇る歴史や文化について学ぼう！



ちくわ たかおかどう きふうあ 竹輪の高岡銅器風揚げ

江戸初期には鉄製のくわや鍋、釜などを製作していましたが、江戸中期にはほんしょう とうろう せいどう おおがたいもの せいどう 梵鐘や燈籠のような青銅の大型鋳物が作られました。衣に入れる青のりで青銅を表現しました。

いもし 鋳物師のごまみそあえ

たかおかいもの かなやまち 高岡鋳物は、金屋町に呼び寄せられた7人の鋳物師(鋳物職人)から始まったとされます。れん根とすりごまで金属を流し込む鋳物の型と砂型の砂を表現しました。



かなやまち いしだみに 金屋町の石畳煮

かなやまち 金屋町は千本格子の家々が軒を連ねて、およそ500mにわたって続くいしだみの道が美しいたたずまいを見せています。また、ごいんさい 前夜祭では鋳物師の作業唄であるやがえりが歌い踊り流されます。

大根と黒こんにやくをサイコロ状にして金屋町の石畳を表現しました。



かなやまち 金屋町で探してみてくださいね